

2014年2月

セントラル警備保障株式会社

各位

セントラル警備保障では、皆様に現在の警備会社の実態を知っていただくため、定期的にニュースレターを発行し、情報提供しています。

今回は、日々の安心・安全を守る警備会社の現場の昔と今について、ご紹介いたします。

## 警備業の今昔～黎明期“警備”という新しいサービスの誕生～

日本に警備会社が誕生したのは1962年です。欧米では当たり前となっていた警備会社も、「水と安全はタダ」といわれていた当時の日本では馴染まず、最初の警備会社は顧客がいないまま開業したといわれています。

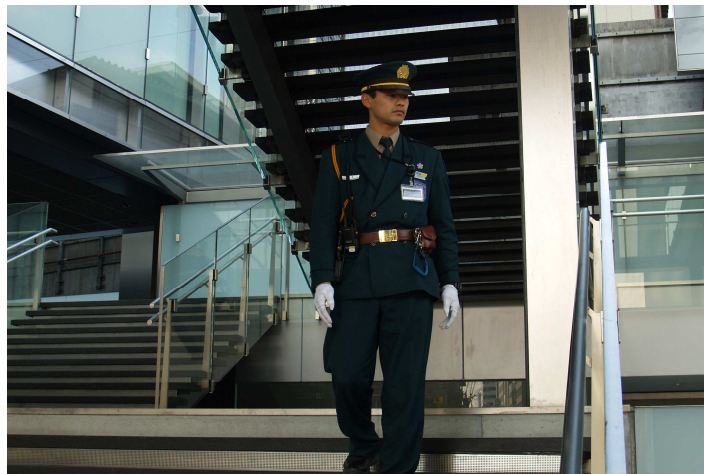
初期の警備会社の仕事は道路工事や建設現場の警備が主で、それまで建設会社の社員がやっていた警備をプロに委託して、社員は本業に携わるといことから少しずつ警備会社の仕事は増えていきました。そして、高度成長期、さらには1964年の東京オリンピック、1970年の大阪万博(日本万国博覧会)をきっかけに、警備会社は成長していきました。また、1965年から1971年にかけて放送されたTBS系のドラマ「ザ・ガードマン」により、全国的に“ガードマン”(警備員)という職種が認知されました。

セントラル警備保障の創業は、1966年です。当社も他の警備会社と同様に、当初は工事現場などの警備がほとんどでしたが、創業まもなくに来日したビートルズの警備をして大変話題になりました。

警備業は日本社会に浸透していき、銀行や空港といった重要施設の警備から、それまで宿直に任されていた夜間の巡回警備なども、警備会社に依頼されるようになっていきました。

しかし、新しいビジネスとして急成長を遂げた警備会社には法的な規制がなく、人がいて制服と懐中電灯、ヘルメットなど限られた準備で仕事を始めることができたため、いろいろな問題も起こるようになりました。こうしたことから、1972年に警備業者や警備員の資格、社員教育、業務についての条件を定めた法律「警備業法」が定められました。

警備業法が定められて以降、警備の質も向上し、一時期約1万社まで増加していた警備会社も淘汰され、現在は約9,000社が存在しています。





警備業法ができるまで、世間には「警備員は寝ない」といった認識があり、警備業務を行うためにお客様との様々な調整が必要でした。さらに、勤務場所には仮眠室がないところも多く、仮眠をとるときは簡易式ベッドを活用することも多かったようです。また、コンビニエンスストアなどもない時代であり、年末年始などは出前なども無く、勤務中の食事も苦労していました。警備員はインスタントラーメンやカップラーメン、もしくは弁当・おにぎりや

缶詰を持参しての勤務でした。

昔は、このような仕事の厳しさ、そして認知度の低さから、警備員になる若者は少なかったのですが、警備業法が定められてからは環境も変わり、さらに新しい警備サービスやシステムの提供、業界の成長もあり、今では多くの学生たちが警備会社を就職先に志望するまでになりました。

## 昔も今も変わらないこと、そしてこれから

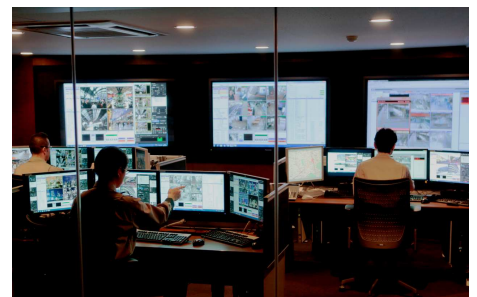
新しいIT技術や、ノウハウの蓄積で、警備業界は日々進化しています。しかし、昔から変わらないこともたくさんあります。

当社では創業以来、本社や支社の巡察員が契約先にいる警備員を24時間予告なしで現場での指導を行っています。定期的な研修などはもちろん、やはり日頃の警備現場での実践的な指導や緊張感、質の高い警備をお客様へ提供すること、そして警備員の安全にも繋がっていくと考えています。

また、勤務の交代時や定時に支社本部管制係へ電話連絡するのも昔から続けていることのひとつです。これも警備の品質管理とともに、安全確保に役立っています。

最近の警備現場と昔の違いとして挙げられるのは、女性の登用です。昔は事務作業や、スーパーなどの万引き検挙の保安業務が、警備会社での女性の役割でした。しかし、現在では当社でも企業の受付担当として女性警備員を派遣したり、監視カメラの画像センターの指令業務など、女性警備員の活躍の場は広がっています。

現在、商業施設、駅、工場などへの警備員の派遣は最重要業務の一つですが、用途に応じた監視カメラやシステムを使って、その状況を指令センターで遠隔確認して異常があると警備員が駆けつける「機械警備」が主流となっています。今後、新しい警備システムの発達により、警備員の数は減少するかもしれませんが、しかし、どんなに技術が進んでも、異常を感知したらすぐに対応できるのは、高度な知識や技能を身に付けた警備員です。





今後もセントラル警備保障では、従来の警備はもちろん、生活全般に携わる安全サービスを提供してまいります。

## ■会社概要

商 号： セントラル警備保障株式会社  
本 社： 〒163-0831 新宿区西新宿二丁目4番1号 新宿NSビル  
代 表： 代表取締役執行役員社長 鎌田伸一郎  
創 業： 1966年3月10日  
資 本 金： 29億2,400万円  
株 式： 東証第一部上場  
事 業 内 容： 1. 常駐警備 2. 機械警備 3. 輸送警備 4. 機器販売及び工事 5. 情報サービス  
U R L： <http://www.we-are-csp.co.jp/>

### 【本件に関するお問い合わせ先】

セントラル警備保障株式会社  
管理本部 経営企画部 広報宣伝・IR室  
TEL:03-3344-8747 FAX:03-3345-2418